



～晴れの国お産所～ 笠岡市(くにさだ助産院内)

生まれてくる赤ちゃんとお母さんに温かく寄り添う助産院のドキュメント映画の上映会。
上映後は、映画の企画チームである陽だまり代表の唐木さん、晴れの国お産所の国定先生とのアフタートークを予定しています。
ぜひお気軽にご参加ください。

10/4 2025 (土)

10:00～
上映(約60分)

11:00～
アフタートーク

助産院でのお産を知ってほしい！
女性たちの想いが産み出したお産ドキュメンタリー



現在の日本では経産したら病院で産むのが主流。助産院でのお産はあまり知られておらず、多くの場合、選択にすら入っていない。
「助産院でお産する選択があることを多くの人に知ってほしい」「自然なお産の素晴らしさを伝えたい」

立ち上がったのは、岡山県笠岡市にある助産院「晴れの国お産所」でお産を経験した女性たち。想いを形にして必要としている人に届けたい。助産院を舞台にしたドキュメンタリー映画制作が始まった。
彼女たちの情熱に突き動かされたカメラを回したのは、映像作家の田中トシロ。自身も子どもの誕生を助産院で迎えた経験を持つ3児の父。撮影を通して見えてきたのは、女性に対してはもろろん、赤ちゃんも1人の人格として意志と尊厳が大切にされるお産。そのまなざしが映し出したものは、産まが母から産まれてきた、かけがえのない存在だということを思い出させてくれる。

そして「わたしたち」は想いを巡らせる、お産というものの原点に。

不安を抱えた女性たちが お産によって生まれ変わっていく

心までほぐれるような丁寧なマッサージ。抱きかかってくれる優しい声。たっぷり時間をかける妊婦検診。陣痛の合間におむしを替えて、リラックスした表情で笑い合う妊婦と助産師たち。ずっと話かそばにいて、痛みのために手を差し伸べる。時に妊婦たちが驚き、助産師も思わず一瞬おどろく。一見すると普通の家。ここは岡山県のある助産院。心地よい風が吹き、鳥の音がする。この場所には、病院以外のお産の選択をするための集客から妊婦たちが出迎えられる。——現代社会に対する違和感と不安から「子を持つこと」に戸惑いを覚えた女性。——産後ケアを希望し、お産といえば「不安」でしかなかった女性。——もしも何かがあったら不安が怖いという不安で悩んでいた女性。それらの想いを持って助産院でお産することを決めた女性たちとその家族。女性と赤ちゃんが安心して本来の力を発揮できる環境を整え、共に「その時」を持つ助産師たち。そして迎えるお産の時。痛みを乗り越えたくて待つものは——



【このプロジェクトへの想い】

お産の選択を悔やみたいという想いから、このプロジェクトは始まりました。それは、私が当り前には4人産んだ助産院。自宅での出産と、5人目にして経験した病院での出産の違いを体験したからこそでした。決して病院の産を否定したわけではありません。ただ、日本にはこんなに近くに温かく優しいお産がある場所があることを知ってほしいと私は心から思っています。お母さんと子どもたちが笑顔にならない、優しいお産の中にあることを支え、このドキュメンタリーを届けたいです。

これまで一緒に歩んでくださった皆様、心から感謝しております。企画「陽だまり」代表 唐木祐希



TEL:086-427-5550

開所時間：月～木・土曜日 9:00～14:00

住所：倉敷市美和1丁目8-5 山内服装専門学校2階

H P : <https://www.pokkapon.com>

インスタ：@pokkapoka_krsk



HP インスタ